10/1 安定した配送体制作りへ

農家戸配送出発式を開き、新しい配送体制のスタートを祝いました。ＪＡは10月から配送業務を全農物流（株）に委託し、生産資材をお届けしています。ＪＡの佐藤一則組合長は「今後も一層、組合員サービス向上のため努力していく」と力を込めました。



出発式でテープカットする関係者

10/1 米卸社員が生産者と交流

米卸の（株）ヤマタネは（農）みらい農産（一関）の圃場で稲刈り交流会を行いました。ヤマタネの社員研修の一環として行われ、５月には田植えを体験。みらい農産社員やＪＡ米穀課職員の指導を受けながらコンバインを操縦し、稲刈り作業を体験しました。


指導を受けながらコンバインを操縦

9/29 役職員が交通安全を誓う

秋の交通安全運動期間に合わせて、役職員４８３人が自署した交通安全誓約書を一関警察署と千厩警察署へ提出しました。また、事故のない社会づくりや地域貢献のために、交通安全啓蒙品として、反射材を施したエコバッグ４５４個を寄贈しました。


誓約書を提出するＪＡの髙橋敬之常務㊨

9/18 健康願い歌や踊りを披露

ＪＡハートフル室根支部

支部員５人が、宮城県気仙沼市のケアプランセンターぽらん大島を慰問しました。入所者が元気に過ごせるよう、心を込めて歌や踊りを披露し、交流を図りました。


踊りを披露し入所者を元気づける支部員

9/29 協力して作業に取り組む

滝沢小学校（一関）

５年生23人は、ＪＡ一関青年部真滝支部の指導で、５月に植えた「ひとめぼれ」の稲刈りをしました。グループに分かれて作業を分担し、協力して稲刈りに取り組みました。


ひとめぼれを刈り取る児童

10/3 文化祭で牛乳の消費拡大

県立大東高等学校

文化祭会場で牛乳の配布とソフトクリームの販売をしました。生徒がソフトクリーム作りや牛乳配布に協力し、牛乳の消費拡大と酪農への理解醸成に向けＰＲしました。


来場者へソフトクリームを手渡す生徒

10/7

営農振興願い要請書提出



一関農林振興センターの吉田正博所長㊨に要請書を手渡すJAの那須元一専務

JAは、岩手県と一関市、平泉町に、営農振興に関する要請書を提出しました。米価の適正な価格形成のために需給見通しの明確化や適切な備蓄米の買い戻しなどを求めた他、消費税減税に係る生産者所得確保支援、畜産振興に対する支援の3項目を要請しました。

10/3

いものこ汁で秋の味覚を

一関いものこ会実行委員会



サトイモの茎とネギをカットし開会をお祝い

第43回一関いものこ会の開会セレモニーを一関遊水地記念緑地公園で開きました。テープカットとして、地元特産の南沢土垂里芋の茎とネギにはさみを入れました。いものこ会は10月31日まで行われ、多くの人が旬の食材たっぷりのいものこ汁を楽しみました。

10/4

生協組合員と稲刈り交流

〝都里夢米生産振興協議会（一関）



生協組合員と生産者が稲刈りで交流

生活クラブ生協岩手との稲刈り交流会を開きました。参加した生協組合員や家族は地元農家の手ほどきを受け、5月に植えた「銀河のしずく」を鎌で刈り取り、わらで束ね、ホニオに掛ける作業を体験。参加者同士の交流も深め、出来秋を喜びました。

10/13

ドローンで小麦種子散播

（農）プロファ一関



ドローンで収穫前の大豆畑に小麦の種子を散播

JA全農いわてへ業務委託し、ドローンで小麦の種まきをしました。「銀河のちから」などの種子1・53㌧を小麦サイレージ用として7㌶、食用小麦として2㌶に散播。立毛間栽培を導入し、収穫前の大豆の畑を利用することで、圃場準備などの省力化も図ります。

10/8

上手に手刈りし収穫喜ぶ

川崎小学校



夢中で稲刈りする児童

5年生25人は、（農）門崎ファームが管理する「メダカ田んぼ」で稲刈り体験学習を行いました。11月には収穫祭を開き、収穫した新米をおいしく食べる予定です。

10/17

大きなおいもが採れたよ

いってみっぺし藤沢



サトイモを収穫する子どもたち

子ども食堂に参加する子ども10人と保護者は、JA女性部藤沢中央支部の指導でサツマイモやサトイモを収穫しました。大きなイモがたくさん採れると、笑顔が広がりました。

10/16

秋の収穫に喜びあふれる

龍澤寺こども園（一関）



保護者と一緒に稲を刈り取る園児

年長児35人はJA一関青年部中里支部の指導で、5月に植えた「こがねもち」の稲刈りをしました。保護者に手伝ってもらいながら、秋の収穫を楽しみました。